

たかのす

人口と世帯数

12月31日現在		(前月比)
総人口	25,278人	(9人減)
男	12,331人	(増減なし)
女	12,947人	(9人減)
世帯数	6,981世帯	(4世帯減)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



働く若者

電工として働く斉藤博志君
(太田・24歳)。

彼、専修職業訓練校電気科を卒業と同時に現在の会社に勤務、務めのかたわら鷹巣農林高校定時制に入学、勉学に励んだカンバリ屋。

同校卒業後は、青年会活動に入り、ながいあいだ途絶えていた「太田番楽」の復活に努力、若者だけで立派に継承した。

現在は、町連合青年会の副会長を努めるのだが「仕事が第一、青年会活動は休日と夜だけ」と、けじめをわきまえた好青年です。

No.353

52・2・1

「出川町長が関係機関へ陳情」

鷹巣気象
通報所

測候所へ昇格を!!

＝特急「白鳥」の鷹巣停車も＝

出川町長は一月十一日、東京で開かれた全国町村長大会に出席のため、九日に東京、十四日まで東京に滞在。懸案となっている「気象通報所職員の継続配置と測候所への昇格」「特急白鳥の停車」「郵便集配区の変更」「昭和五十二年度事業予算の採択」などについて、関係各庁を始め、地元出身代議士に強力に陳情してきましたが、情勢はそれぞれ厳しい状況にあり、今後一層ねばり強く働きかけていくことにしております。

○鷹巣気象通報所には現在二名の職員が配置されておりますが、国の第四次定員削減計画により、気象庁は五十名の削減が割当となっている。

そこで同庁では、地域気象観測網が整備され、気象通報所の使命は終わったし、地元へのサービスも低下させないとして、全国に二十三方所ある通報所（職員五十三名）の廃止方針を打ち出したもの

です。

これに対し町では、地域気象観測網が整備されたとはいえ、豪雪地帯に不可欠の積雪観測を始めとして、天気、雲、視程、湿度等の観測がカットされるほか、これまでのように資料の提供が受けられなくなるほど、住民サービスが低下することから町議会で反対決議をあげて関係機関に陳情したほか、今回は四十八団体の署名を得て、

「気象通報所職員の継続配置と測候所への昇格」を、気象庁、運輸省など関係機関へ陳情、要請したものです。

○青森―大阪間特別急行列車「白鳥」の鷹巣駅停車については、昭和四十八年以来陳情を続けておりますが、実現をみていないものです。

鷹巣駅は、ご承知のように「白鳥」を除くすべての特急停車駅となつていますが、昼間に日本海沿岸を通る「白鳥」だけが停車していません。このため、上りで「白鳥」を利用する場合は、朝五時四十分の普通列車に乗り、東能代で乗り替え、下りの場合は東能代で午後十時五分か、大館の同十時四十五分となり、乗り替え列車がないためタクシーを利用しなければならぬという不便さ。

こうしたことから、当町はもちろん隣接町村からも「白鳥」の鷹巣駅停車を強く望んでおり、今回も阿仁部を始め田代、二ツ井、藤里などの町村と陳情を行ったものです。



無人化方針が打ち出された鷹巣気象通報所

沢口舟場を鷹巣局集配に!!

○郵便集配区の変更陳情は、南鷹巣と同地域の沢口舟場などが、町村合併以前のまま七日市局の集配区域となっているのを、鷹巣局の集配区域に変更してほしいというもの。

ご承知のとおり、郵便番号は鷹巣、栄、綴子、坊沢、七座地区が〇一八―三三で鷹巣局、沢口と七

町長日誌

1月1日～1月15日

- 4日 町交通指導隊査閲 消防出初式
- 6日 鷹巣建設技能組合定期大会
- 7日 農業委員会新年会 商工会新春懇談会
- 10～14日 全国町村長大会ほか各種陳情―東京

日市地区が〇一八―三四で七日市局扱いとなっている。

このため南鷹巣と同地域の脇神字平崎上倍、川戸沼、米の倍（通称舟場）は七日市局扱いとなり、一部郵便物のおくなど日常生活においても不便を感じる事が多いとして、以前から集配区変更の陳情を行っていたものです。

○また、昭和五十二年に予定される事業「当町と田代町を結ぶ広域基幹林道大摩当線の開設」などそれぞれ関係省庁に陳情してきましたが、「気象通報所の廃止」については気象庁がすでに無人化の方針を打ち出しているなど、それぞれ情勢は厳しいものがあり、それが、今後一層ねばり強く働きかけていくことにしております。

たばこは町内から買いませんか

申告日程表

日時	会場	午前9時～午前12時	午後1時～午後4時
2・2	役場大会議室		所得税確定申告説明会
2・4	//	山林、譲渡所得説明会	
2・7	園民会館	//	
2・7	役場大会議室	東横町・西横町・仲町・大町	学校通・旭町・新旭町・西仲通
2・8	//	三吉町・桜木町・元新町・栄町	花園町・末広町・米代町・東住吉町
2・9	//	西住吉町・北新町・太平町・福住町	松葉町・駅前・新松葉町・材木町
2・10	//	東仲通・伊勢町・東旭町・西旭町	舟見町・あけぼの町・森館町
2・12	二本杉会館	岩谷・二本杉	
2・14	役場大会議室	高野尻・掛泥	掛泥
2・15	//	太田	太田
2・16	//	湯車・小ヶ田・川口	緑ヶ丘
2・17	田中会館	田中	新田中・南田中
2・18	栄生活センター	李ヶ岱・田沢・大沢	摩当
2・19	前山会館	黒沢・前山	
2・21	舟場会館	舟場・佐助ヶ岱・高森ヶ岱	堂ヶ岱・南鷹巣
2・22	綴子公民館	小田・田子ヶ沢・松原	綴子上町
2・23	//	昭和・大堤	綴子下町
2・24	糠沢会館	大畑・向黒沢	糠沢
2・25	今泉会館	蟹沢	今泉
2・28	沢口農協	藤株・小摩当	脇神・上野
3・1	坊沢公民館	深閑・相善	羽立・上町
3・2	//	黒沢・街道町	大町・新屋敷
3・3	小森会館	湯ノ岱・坊山・四渡	小森
3・4	七日市公民館	根木屋敷・妹尾館・中畑	本郷1組～6組
3・5	中屋敷会館	中屋敷	
3・7	七日市公民館	品類・深沢・吉ヶ沢・下舟木	岩脇・横測・吉野
3・8	三ノ渡会館	上舟木・明利又	松沢・黒森・三ノ渡
3・9	葛黒会館	大畑・与助ヶ岱	葛黒・門ヶ沢
3・10	役場大会議室	日程表により申告出来ない人	日程表により申告出来ない人
3・11	//	//	//
3・12	//	//	//
3・14	//	//	//
3・15	//	//	//

昭和52年度分

税の申告始まる

申告は指定日に

昭和五十二年分町民税、県民税の申告を、左表の日程により行います。

この申告は、みなさんの町民税、県民税、国民健康保険税の税額計算の基礎になります。もし申告さ

れないと、いろいろの所得控除をしないで税金を計算することになり、余分に税金を納めなければなりませんので、あなたの指定日、期日厳守のうえ、申告してください。

▼申告しなければならぬ人
昭和五十二年一月一日現在、鷹巣町内に住所のある人（この場合、住民登録の届出をしてなくても鷹巣町に住んでいる人）で、五十二年中に所得のあった人……株式配当、公社債等も含まれます。

ただし、次の人は申告する必要はありません。

① 税務署に確定申告書を提出する人
② 勤務先で給与から住民税を差し引かれる人
※ただし、給与所得以外に、地代、家賃、配当、営業、農業所得の

ある人、医療費、雑損控除を受けようとする人は、申告しなければなりません。

▼申告の相談受付と時期
申告相談受付は、あなたの指定日により、期日厳守のうえ申告してください。

なお、郡合により指定日にこれがない方は、三月十日から十五日までのいずれか都合のよい日に、役場三階大会議室で申告してください。

▼申告の受付にお持ちいただくもの
① 印鑑 ② 生命保険の支払証明

書 ③ 医療費のある方は、医師、薬局等の支払証明書 ④ 農機具の取得年月日および購入金額の証明書 ⑤ 大学生のいる家庭では、在学証明書 ⑥ 国民年金に加入している方は領収書

※住宅取得控除を受けようとする人は……自己の居住の用に供する家屋を新築、または新築家屋を購入した場合、床面積が百六十五平方メートル以下の方は建築確認申請の確認通知書の写し、登記簿の謄本、住民票の抄本、源泉徴収票等を添付してください。

見聞ひろめた中国訪問

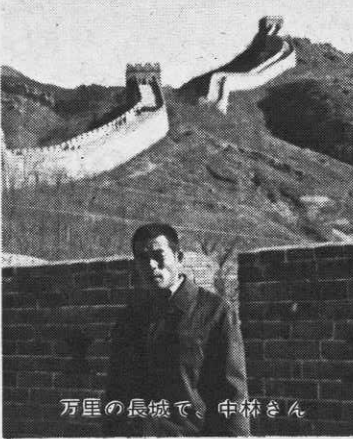
「日中友好秋田県農業青年の翼」団員として、当町から三人の青年が参加、昨年の十一月九日から二十六日までの十八日間にわたって中国各地を回り、見聞を広めてきました。
三人の方から、それぞれ報告がありましたので紹介します。

日中友好に参加して

中 林 藤一郎 (小 森・35歳)

この度の訪中は、私にとって感銘することばかりでした。
特に、土に生きる農業こそ国造りの基本であるという「農業を基礎に工業を導き、農業は大業に学び、工業は大業に学ぶ」運動の基で、中国人民が新しい国造りと、社会主義建設に一九〇となって邁進している姿を、この目で見て深い

感銘を受けました。
また、心の美しさ、物資を大事にし、人を愛し、勤労と経験を最も尊敬する国民性には驚きました。農業技術も表面だけの学習でなく、徹底的に納得のいくまで勉強している姿には、私が考えていた中国とは比較にならないほどの発展ぶりがかがえました。



万里の長城で、中林さん

服装も生活水準も質素ながらも、国造りは農業からという信念をもって働いており、また都市と農村との格差解消に、中国人民が一体となって励んでいました。
大業の視察では、農業の心臓部とされている水利建設が、国家建設の一大事業として分

層養魚、発電、輸送、田畑等の多目的で建設され、人工的に手を加え、人民の生活向上を前進させようとすることに驚きました。

耕地は、岩山を切り掘り谷間を埋め、山を開き、用水路を造り、耕土は、石垣を積み段々畑にし、悪条件な土地を理想的な耕地にして、水害や干害等の各種災害に対応できるように造りかえている農民の姿を見て、私は大業人民の精神を想像することができました。

いま中国では、農業の機械化を促進させるため、冬期間を利用して農地の基盤整理をしているため、むしろ冬の方が忙しいという。ただ機械化が進んでも、あくまでも労働の中心は人間であるという精

神には、私たちの忘れさせていた勤労精神を思いださせられました。また、耕作法も二毛作、三毛作まで、栽培技術は向上され、土地も最大限利用されるなど全く理想的な共同化の姿で、知識を出し合い、自力更正の精神で自然を克服し、農業入学憲法を忠実に守る思想教育であった。自心を捨て、大衆奉仕の精神で老若男女、子どもまで一丸となって、日焼けした顔でテニピン棒をかついでいる姿は、今の日本では見られない尊い姿であると痛感しました。

工業用水となる人造運河を、国の計画で大型ダム建設によって造るなど、本当に将来の中国はどんな発展をするのか、私には想像も及ばないところであります。どこへ訪問しても町村をあげての大歓迎で、中国の友人と日中友好を誓いあい、固い握手をされ、滞在中は感激の連続でした。

十八日間、北京、大業、南京、揚州、上海の各都市を中心に、学校、工場、病院、人民公社、水利事業等を視察し、行く先々で、自立更正、刻苦奮闘のあとをうかがうことができた。

キラキラ輝く目、近づいては握手を求める子供たち。学校、病院、人民公社いたる所

学校教育「社会と直結」

千葉 賢一郎 (七日市・34歳)

「日中友好秋田県農業青年」歓迎のたれ幕、はり紙。

手を振り、拍手をするその姿は実にすがすがしく美しい。

中国では今、「農業は大業に学ぶ」、「工業は大業に学ぶ」をスローガンに猛烈な運動を展開している。工業は農業の導き手として計画生産をしている為に、もちろ

ん、需給、需要のアンバランスはありません。すべてが国家の年次計画により作付され、機械が生産され需要されるのです。
私達はその「大業」を見る事が出来た。

雨期(七月八月)、干期の差が著しく、数回にわたる大災害にもくじけず、家は住める程度に修理し、食糧増産に力を注いだ姿がいまでもいたる所に残されている。まったく国家の援助を受けず、岩山を谷間にうめ、豊かな耕地(畑果樹園)に改良し、地下にはトンネル式の排水路を作り、洪水を防ぎ、山の頂上には一万トンの貯水池(レンガ作り)が所々にある。これがすべて畜力、人力で築き上げたものかと、その立派さに驚嘆した。

まさしく、自立更正、刻苦奮闘、苦を恐れず、死を恐れずである。生産大隊の中には教育、医療施設はどこにもあり、食糧(穀物、野菜、肉)などは現物支給する。大業人民公社、北京の双橋人民公社、上海の羅店人民公社を見たかぎりでは、自分の土地(自留地)のある所、耕地の全部が公社の所また、先に述べたように現物支給の量の違いや、公社間の賃金格差はある。「こうした農村の格差をなくすことも今後の課題です」という公社幹部の言葉が印象に残る。最も感心させられたのは、国家が食糧増産に力を入れていることです。広大な土地を基礎にして工業は食糧を作る手段にすぎません。二毛作、三毛作が出来るようになったのも農民の堆肥作りと、都



大寨人民公社で千葉さん

市汚水の還元と、化学肥料の三結合によってなされるのが出来たと、私達が忘れかけていた農業本来の姿を見た思いがした。

このような農業（勤労）に対する位置づけは、幼稚園から大学まで徹底して教育方針におり込み、マルクスレーニン主義を学び「理論と実践」を結びつける教育、「勤労人民」を育てる教育を身につける為に、すべての学校に工場があり、社会と直結させる為に、工場、農村、商店へ実習に行き、働く事を実践し、討論し、解決策をみい出している姿は、社会体制の違いはあっても学ぶべき事のように思えてならない。

中国の農業（一般社会も含）は技術的にも、生活水準も、日本と比較したらかなり低いものがある。機械化にしても、品種改良にしても、しかし彼等はそのことを充分承知し、国全体のバランスを考慮して計画的に推進している。

「理論と実践」の尊さを学んでいる青年達が、広大な土地と、未開発とされている地下資源をどの

ように利用、活用していくものか機会があればまた行きたいと思っています。

その国の過去を知り、謙虚な気持ちで未来を探究し、相互の理解を

農業の原点をみる

米沢治美（昭和・26歳）

十八日間にわたり北京、大寨、南京、揚州、無錫、上海の中国各地を訪問し、人民公社、小中学校、病院、労働者団地、各種工場など、どこでも中国人民の熱烈な歓迎を受け、団員一同、大変に感激した。

中国は自立更生、刻苦奮闘の精神でいま社会主義建設の真最中であり、中国農業の二本であるのが大寨生産大隊であった。中国国家の目標がこの戸数八十戸、人口四百人余りの小さい村にあるような気がした。

大寨は、標高八百餘りの山間地であり、解放前は五十三haの耕地が四千七百余カ所に分散していたのを、谷を埋め、山を耕して、現在には五十六haになり千五百カ所に整理されている。また、やせ地であったのを有機質肥料を化学的にやり、土壌改良に力を入れて、収量は解放前の約十一倍に達しているという理由もわかるような気がした。



南京の荘園で、米沢さん

深める努力こそ前進につながることを学び、中国人民は日本国民との交流を「子子孫孫、世々代代」まで願っていたことをお伝えします。

私たちが非常に驚いたのと同時に考えさせられたのは、貯水池を含めた水利事業、耕地整理、アパートなどは、すべて大寨生産大隊の人民たちの手で作り上げたものであるということだった。また、学校、保育所なども生産大隊の運営管理であった。自立更生、刻苦奮闘の精神が村一面にあふれており、少年、青年、老人たちの目の輝きがそれを物語っているような気がした。

そのほか、農業関係以外では、病院、学校、各工場などを見学したが、病院ではハリ麻酔を中心に見学した。食道癌と、のどの腫瘍のような手術を見たが、日本の手術と違い非常に短時間にかつ簡単な行っていた。医療費は、年間二元（約三百二十円）を支払うとよいとのことであった。また病院では、医師を各地に派遣しているとのことであり、ここにも人民の奉仕する精神が生きていた。

学校での子どもたちは、目を輝かし、のびのびと学び遊んでいた。中学校には実習を兼ねて小さな工場があり、また小学校の一年生がボールペンの組立実習を行っていた。小さい時から労働の尊さ、厳しさを教え、人民に奉仕する精神を学んでいた。

各工場も見学したが、その中には地下壕を作り、戦争に備えている工場もあったが、私には説明を聞いても理解することができなかった。

いま中国訪問を終えて脳裏にうかぶことは、熱烈な歓迎風景、また万里の長城、南京大橋、江都水利事業などにみる無限的なエネルギーと、八億の人民が毛思想を学び社会主義建設に向かって邁進する中国、そこには日本にないなにかを感じた。

これからも私は、中国と日本の友好関係が続くようがんばりたいと思います。そしてまた、何回でも訪問したい国だと感じています。

—楽しい種目がいっぱい—

第15回 町民スキー大会

◆とき 2月11日(祝日) ◆ところ 町営薬師山スキー場

みんなの広場



赤ちゃんの体と心はどう育つか

乳幼児の学習に励む

▼ちよつと発熱してもー
赤ちゃんを育てるといことは、なかなかむずかしいものです。ちよつと発熱しても、びっくり

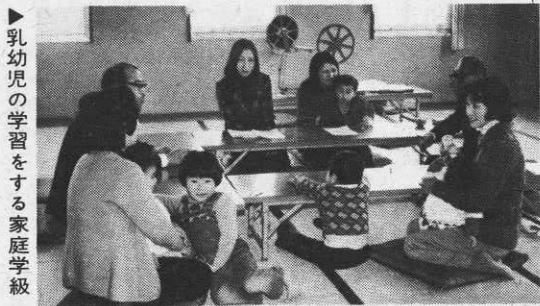
するほど脈はくが速くなり、あげつぷお乳をもらって、「どうしたのかしら」と心配させます。二歳ごろになると、「いや、いや」をして、「なぜ、こんなに反抗するんだらう」と周囲を困らせます。

核家族の若い母親が、一人で悩む場合が多いのではないのでしょうか。

▼学級の開設

そんなわけで、公民館では昨年の七月から鷹巣家庭教育学級を開設して、もっぱら乳幼児の心身の発育について学習を進めました。学級生の数は七名で少ないが、気軽に話せるふん囲気があり、「わたしの家では…」と会員同志の意見がかわされてきました。

七月…開講式、映画「スキんシップ」、育児上の困難点、学習し



▶乳幼児の学習をする家庭学級

たいことを座談。

八月…「育児上の保健的留意点について」、映画「赤ちゃんの離乳」。

九月…「乳児の体の発育について」

その(1)、映画「赤ちゃんの発育」

十月…「乳児の体の発育について」その(2)。

十一月…「赤ちゃんの心理の発達について」その(1)、映画「わるくなつたと言っけれど」

十二月…「赤ちゃんの心理の発達について」その(2)、映画「子どもの才能発見」

一月…「学習の反省と感想を語る。映画「お手伝いをさせています

か」

▼学級生の声

本年度の学習を終えて、学級生は概略次のように話しました。

①初めは、育児の仕事で精いっぱいであったが、このごろ子どもを見る目が開けてきた。

②学級生が友達になり、体験談の交換や講師の助言が得られて参考になった。

③子どもが反抗的になつても、ある程度余裕をもってそれを観察するようになった。

④来年度は、具体的事例を盛り込んだ内容をとり入れて、濃密な学習にしたい。

⑤同伴した幼児を預かる措置を考えたかどうか。

▼三つ子の魂百までもー

子どもは、体の発育や心の動きにあつた育て方を受けてこそ、心身が健康に成長します。

「三つ子の魂百までも」のことわざがあるのとおり、乳幼児のころの魂が、その人の一生にかかわってくるのです。

新年度(四月から)の家庭教育学級には、より多くの若いお母さんが入級されるよう、公民館では目下、学習内容の改善や充実を検討しています。

墨こん鮮やかに

新年書きぞめ大会

第七回新年書きぞめ大会が、一月五日午後一時から公民館に二百五十名が参加して行われました。参加者は、日頃の練習の成果を力強く表現しようと、「お年だま」

「わかたけ」など、筆運びも鮮やかに元氣よく書きあげていました。書きぞめ終了後審査が行われ、公民館長賞四十二名、入選七十八名を表彰しましたが、館長賞を受賞した方は次のとおりです。

▼幼児の部 成田やよい(新旭町)

▼小学一年 小林久喜、中島美幸(以上中央)

▼武田輝明(竜森)

▼小学二年 成田康浩、永井孝史、高橋昌人、宇佐美信寿(以上中央)

▼木曾佳子、笹代孝徳

(以上竜森 村上智(東小) 石川奈々子(鷹巣)

▼小学三年 松岡泰博、中野谷明子(鷹巣) 近藤みき子、土佐良子、秋元徹、柴崎友子(以上中央)

▼千葉聡美、長岐良子(南)

▼堀部美花子(竜森) 村上能之(東)

▼小学四年 成田憲一、岸田尚美、小塚佳子、小林久之、島山幸也(以上中央) 藤田真紀子(南)

▼津谷恵子(綴子)

▼小学五年 神成千恵美(南) 三上美賀子、相馬弘子(以上竜森)

▼春日美希子(中央) 加藤美穂子(鷹巣) 長岐淳子(南) 戸島淳子(西)

▼小学六年 島山勇人(中央) 神成泰行(南)

▼中学の部 佐藤満喜子、柳谷稜子(以上鷹中一年) 三上恵子(南中一年)

▼一般の部 戸島金弘(坊沢)



第七回新年書きぞめ大会の様子

ムシ歯なんかないヨ!!



3歳児343人の内
25人を表彰

昭和五十一年度三歳児「むし歯のない子」の表彰式が、一月十八日午後一時三十分から役場で行われ、該当者三十四十三人のなかから男十五人、女十人が表彰され、出川町長から子どもたち一人一人に賞状と賞品が贈られました。

三歳児むし歯のない子の表彰は、むし歯予防事業の一環として昭和四十六年度から実施しているもので、今回の該当者は四十七年九月一日から四十八年八月三十一日まで出生した三百四十三人。昨年十月の第一次、十二月の第二次審査の結果、二十五人が表彰されたものです。

表彰式で、検診に当たった佐藤正孝医師は、むし歯予防として▽糖分の制限▽食後のうがい▽歯みがき▽偏食のない食事▽早期治療などが、なによりも日頃、口の中をきれいにしておくことが大切ですと述べました。

また表彰式後、受彰者を代表して土佐一夫君、友二君のお母さんが謝辞を述べ、式を終えました。受彰者は次のとおりです。

- 齊藤 寛(昭治 長男)三吉町
- 龜山 寿仁(竹子 長男)新松葉町
- 杉山 誠(昭二 二男)伊勢町
- 土佐 一夫(卓次 長男)南鷹巣
- 土佐 友二(卓次 二男)南鷹巣
- 佐藤 肇(富夫 長男)南鷹巣
- 熊谷 充晃(長司 二男)あけぼの
- 鳴海 到(茂雄 長男)あけぼの
- 成田 香菜(慎吾 二女)東旭町
- 岡本 志佳(貞 長女)西旭町
- 成田 洋子(博生 二女)大町
- 高橋 誠(利男 長男)摩当
- 高坂いづみ(繁美 長女)相善町

書き損じた はがき類の交換

- 桜庭 美紀(正夫 二女)蟹沢
- 佐々木ルミ子(安男長女)今泉
- 藤島 一弘(正 長男)舟場
- 小塚 幸輝(留蔵 二男)堂ヶ岱
- 小塚 淳子(直造 長女)堂ヶ岱
- 岸田 良子(康進 三女)堂ヶ岱
- 堀部 英則(喜江蔵二男)七日市
- 長岐由輝子(政一 長女)七日市
- 松前 優子(清二 二女)妹尾館
- 長岐 莊一(哲雄 長男)前野団地
- 成田 憲由(満郎 二男)掛泥
- 高橋 正人(正弘 長男)新田中

郵便はがきやミニレターで、書き損じたり、汚したり、印刷を誤ったりしたものは、わずかな手数料で新しいものと交換できます。ただし、料額印面(切手に相当する部分)を汚したり、傷つけたものは交換できませんのでご注意ください。

なお、今年度発行のお年玉つき年賀はがきの書き損じたものも、普通の官制はがきと交換することができます。

手数料(二枚につき)は次のとおりです。

▽通常はがき、年賀はがき…三円
▽往復はがき…六円

▽郵便書簡(ミニレター)…六円
お年玉年賀はがき
引き換えはお早めに

年賀はがきのお年玉賞品引換期間は、一月二十日から七月十九日までです。

当せんしたはがきは、くじ番号部分を切り離さずそのまま郵便局へ持って行ってください。

なお、三等以上の賞品を受け取る場合は、くじ番号部分の下部余白または裏面に、受け取られる方の署名か押印が必要です。

等級	組	番	号
1等	A B共通		5 2 9 9 1 4 3 7
			6 9 9 9 9 9 0 7
2等	Aのみ	下5けた	9 7 5 8 5
		下5けた	7 4 3 1 4
3等	A B共通	下3けた	361 185
4等	A B共通	下2けた	08、10、02

スキー場に電話

〓七局二〇三四番〓

町営業師山スキー場ヒュッテに、電話が新設されましたのでご利用ください。

電話番号は、七局の二〇三四番です。



ひとこと

三日は豆まき。四日は立春で、いろいろな行事、初午や八十八夜とか二十日、二十一日などはこの立春から数えて決めるわけで、暦の上の重要な日であるわけです。

八日は、縫い針に日頃の感謝の気持を表わす針供養。十一日は、国の発展を期する国民の祝日「建国記念の日」。十四日は聖バレンタインデー、この日はかりは女性から男性にプロポーズしてもよいし、日ごろの片思いもこの日にプロポーズすれば成功するといわれます。ヤングにとっては誠に都合のよい日です。

全県高校スキー大会での、鷹巣農林高校の活躍はすばらしいものでした。

なんととっても地元高校の活躍は、私たちが歓喜させてくれます。これから行われるインターハイ、国体と、なお一層の頑張りを期待したい。

国立教育研究所が、五十年に実施した学力調査結果を発表したが、これによると暗記ものは一応できるが、理解力や応用力を試される問題には弱いという特徴が明らかになったという。教材が多いのか、指導が悪いのか、生徒が悪いのか、考えさせられる結果である。



二氏寮九島 會員美術線一

おしらせ

第三次結核検診

二月七日から十六日まで第三次結核検診(胸部レントゲン)を行いますので、第二次までに検診を受けてない方は必ず受診してください。

結核検診は、法律に基づいて全住民が受診するよう義務づけられており、第二次検診までに十三人の保菌者が見つかっております。日程は次のとおりですが、時間

は、午前が十時から十一時三十分まで、午後は一時から二時三十分までとなっております。

なお、十四日から十六日までの午後は、結核検診とあわせ循環器(心電図)検診も行います。

- ▽7日 前山公民館(午前) 坊沢公民館(午後) ▽8日 綴子公民館(午前) 太田児童館(午後) ▽9日 葛黒会館(午前) 七日市公民館(午後) ▽10日 脇神公民館(午前) 舟場会館(午後) ▽14 15日 午前・午後とも鷹巣公民館 ▽16日 鷹巣公民館

営庶業白色申告者の確定申告説明会

昭和51年分所得税の確定申告は2月16日(水)から3月15日(火)までです。

これに先立って税務署では、特に営庶業白色申告者を対象に所得の計算方法、申告書の書き方等の説明会を開催します。

当町の場合は、2月2日午後1時から鷹巣町役場3階大会議室において行います。

正しい申告と納税をされるよう多数のご出席を望みます。

館で午後だけ循環器検診。

二月の健康相談

二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、九日と二十三日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査なども行います。

◇ フツ素イオンむし歯予防は、九日と二十三日です。

時間は、午後一時から午後三時まで。

対象者は満三歳以上の幼児で、おいでの際は母子手帳を忘れずにお持ちください。

◇ 妊婦健康相談は、十四日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで。おいでの際は母子手帳を忘れずにお持ちください。

◇ 糖尿病健康相談は、十日と二十四日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで。食生活や日常生活の相談のほか、血圧測定、尿検査も行います。

※場所は、いずれも鷹巣町公民館保健相談室です。

◇ 乳児健康相談は、▽三日 五十一日 十月生まれ ▽十七日 五十二年一月生まれとなっております。受付時間は、午後十二時半から午後一時半まで、鷹巣保健所で行

います。

◇ 五十二年七月生まれの乳児を対象に、十六日午前十時から離乳食実習指導を鷹巣町公民館調理室で行います。

また、午後一時からは家族計画の必要性和その実施指導を保健相談室で行います。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦(助産婦)による妊婦訪問を行います。

二月は、▽二日 七日市地区 ▽八日 七座、坊沢地区 ▽二十日 綴子地区となっております。

訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽仲町 成田彬子さんから亡母トミさんの香典返し

三〇、〇〇〇円

▽小森 神成武義さんから亡叔母ミサさんの香典返し

三〇、〇〇〇円

慶弔だより

1月1日〜1月15日

誕生おめでとうございませす
三上 純平(純治 長男) 黒 沢

- 内山 昇(清一郎長男) 向黒沢
- 戸沢江利子(敦男 長女) 前山
- 今川 祐子(金作 三女) 糠沢
- 今川 美和(満正 三女) 坊山
- 近藤 直子(与一郎長女) 南鷹巣
- 蛇川 剛(論 二男) 田中
- 今川 忍(満良 長男) 糠沢
- 大川 朋恵(房夫 二女) 西横町
- 岩本 希美(治義 長女) 七日市
- 佐藤 千春(政義 長女) 西横町
- 照内 貢平(松雄 長男) 糠沢
- 伊藤 知(武 長女) 西旭町
- 谷内田裕香(英樹 長女) 南鷹巣
- 長谷川 仁(久一 長男) 桜木町

二人の前途を祝福いたします

- 長田 正 前野団地
- 小笠原 信子 田代町
- 本山 正夫 南鷹巣
- 本間 愛子 南鷹巣
- 岩本 喜雄 岩脇
- 森岡 静子 合川町
- 相馬 鶴芳 掛泥
- 伊勢 ひろ子 合川町
- 龜山 義行 田沢
- 松前谷 ヒサ子 大館市

おくやみ申しあげます

- 三浦 トミ(76歳) 新松葉町
- 畠山 マツ(80歳) 舟場
- 藤島 元治(61歳) 太平町
- 千葉 サト(80歳) 中屋敷
- 長岐 コト(74歳) 七日市
- 畠山作右エ門(79歳) 脇神